



ノートルダム清心女子大学 附属小学校同窓会

発行 ノートルダム清心女子大学附属小学校同窓会
〒700-8516 岡山県岡山市北区伊福町2-16-9
Tel 086-252-1486 Fax 086-252-9080

デザイン 株式会社 サラト
印刷 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
Tel 079-284-1380 <http://www.salat.co.jp/>



創立当初の英語の授業

創立50周年 記念号



第1回入学式

Contents

会長あいさつ.....	1
初代校長渡辺先生の思い出.....	2～3
50周年を迎えて.....	4～7
同窓会総会のご案内.....	7
寄附のご報告.....	7
各期の同窓会でご利用下さい！.....	8
お知らせ・編集後記.....	8



同窓会会長
1期生
西川 智晴

ご挨拶



同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。同窓会の会長をお引き受けしてから早くも10年の歳月が過ぎ、今年は清心小学校の創立50周年の大きな節目を迎える年となりました。

この50年の間には世界でも日本でも大きな変化があり、清心小学校を取り巻く環境も変わっていきました。校舎は創立当初の木造校舎から旧マリアンホールに、そして10年前には新しい校舎に移転し、よりよい環境へと発展していきました。

また、大変残念なことは、昨年12月には初代校長を6年

間お務めになられた渡辺和子様が天に召されました。清心小学校の創立以来ずっと私たちを見守っていただいたことに心より感謝をし、哀悼の意を表したいと思います。同時にあらためて周りの多くの皆様のご支援とご協力により現在の小学校があることを忘れてはならないと思いました。

そして、周りの環境がどんなに変化しても創立以来変わらない「心清くし 愛の人であれ」という建学の精神のもとに育った我々清心小学校の卒業生は、常に「聡明で思いやりのある心身ともにたくましい人」であるように心がけていかなければならないと思います。

初代校長渡辺先生の思い出

追悼ミサ並びにお別れ会

学校法人ノートルダム清心学園理事長シスター・セント・ジョン 渡辺和子先生は平成28年12月30日に帰天されました。

生前の遺徳を偲び、ノートルダム清心学園による追悼ミサ及びお別れ会が平成29年2月12日岡山国際ホテルにて、執り行われました。

午後1時から追悼ミサの後、お別れ会が引き続き行われました。お別れ会では津田葵理事長職務代行のご挨拶から始まり、日本カトリック学校連合会 坪光正躬理事長、ご友人代表で曹洞宗愛知専門尼僧堂 青山俊董堂長、横溝洋子同窓会会長、附属幼稚園、附属小学校、清心中学校・清心女子高等学校、ノートルダム清心中・高等学校、ノートルダム清心女子大学から一人ずつ在校生代表のお別れの言葉があり、親族代表の小林依子さんのご挨拶の後、葬儀委員長の高木孝子先生のご挨拶で閉

会となりました。

シスター渡辺は27年の長きにわたり学長を務められ、その後お亡くなりになるまで理事長として学園のために献身的にご尽力くださいました。ことにノートルダム清心学園に学ぶ学生・生徒・児童・園児一人ひとりが現代社会に貢献できるよう、教育と学問研究に心を尽くされ、人格教育に全力を注がれました。(式次第の高木孝子理事長のお言葉)

大きな会場が用意されていたにも関わらず、当日は入りきれないほどの参列者でした。皆それぞれにシスターから受けた大きな愛を思い返しているようでした。

渡辺和子先生がお亡くなりになられたことは、悲しく寂しいものですが、先生の蒔いた種がそれぞれの置かれた場所でこんなにも沢山芽吹き、つばみとなり、花が咲き、実になっているのだと、改めて感じられました。

4期生 西川 眞記子



1967年(昭和42年)から1972年(昭和47年)まで6年間
初代校長として務められました。



創立当初の思い出

元教頭 永原 和子



シスター・セントジョン学長(渡辺元理事長の洗礼名を公的に使用)が、昭和40年に清心幼稚園を創立し、昭和42年から小学校を創立されました。そして、校長となられ数名の職員とともに1学年1クラス(担任河本先生)31名の児童を迎えて、カトリックの理念に基づいた教育をめざす小学校を岡山の地にはじめてつくられたのです。そして2年目、私は(昭和43年から33年間)神の力としか思えないようなご縁で奉職させて頂きました。47人が入学し2クラス増え、私と川西先生が担任になりました。

下記の教育目標を基盤にした教育課程を組み入れ計画が立てられていきました。

心清くし 愛の人であれ ・そう明な子ども・思いやりのある子ども・心身ともにたくましい子ども

著書『校長は太陽である』を出版された藤本副校長は、職員も、太陽のようになり全ての子どもに光りをあてて輝かすようにといつも言っていました。担任は学級の子どもの教育のみを考えて進めるようにという方針で、会計その他、全ての事務を田辺先生が一人で窓口になり大変なお仕事をして下さっていました。また、校内・校外研修に力を入れ全職員で東京の玉川学園小学校の研究会に参加し、前頭葉を働かせ考える力をつける教育の実践を研修にいったことなど今でも鮮明に記憶に残っています。外人シスターによる【英語の授業】シスターによる【宗教の授業】も行いました。バーナディンとレジーナ(バザーでのレジーナケーキ

の元祖の方)お二人の授業は迫力がありました。開校当初から宿泊学習は青年の家や日応寺の少年自然の家に行き、水泳指導は、組み立て式プールで夏休み毎日特訓指導(藤勝先生)・保護者会主催によるバザーも開校当初から盛大に実施されていました。(保護者会初代会長鷺江さんをはじめ皆さんのご尽力も大きかったです。また、行事その他全てにご協力を頂きました。保護者の協力無くしては清心小学校の存続はなかったと言って良いでしょう。

今私は退職して16年目を迎えましたが、卒業生にお目にかかったとき、「清心小学校を卒業して良かった。」とよく言って頂きます。それは、最高に幸せを感じます。

現在、小学校は、私たちは夢と思っていた新校舎の建設、国際コース設置により成果を上げておられます。他にも多方面に発展し続けていて、創立者のシスター・セントジョンが岡山の地へはじめてまかれた種がどんどん育ち、花を咲かせ実をつけようとしています。創立者のお喜びが目に浮かびます。きっとお空から、ずっとお祈りをし続けて下さっていることでしょう。今後とも更なるご発展をお祈り致しております。





故渡辺和子理事長様を偲んで

1期生 橋 本 光 司

1期生が自慢できることの一つに、入学から卒業まで6年間ずっと渡辺校長先生のもとで小学校生活を送ったのは唯一、1期生だけということがあります。

シスター・セント・ジョンとお呼びしておりました当時の渡辺学長様は、附属小学校長をされながら附属幼稚園長もされ、さぞお忙しくご苦勞も多かったことと今では推察いたします。しかしいつも凛とされ、そして優しく品格を感じさせられるお姿が当時の記憶として鮮明に残っております。校長先生としてのお話をたくさんしていただきましたが、一番の記憶に残っている言葉は附属小学校のめざす子どもの像である「聡明な子ども」・「思いやりのある子ども」・「心身ともにたくましい子ども」です。「子ども」を「人」に置き換え、現在にいたるまで規範といたしております。

卒業後は第2代同窓会長や学園評議員を拝命した時期があり、

子供達も附属小学校でお世話になりましたので、渡辺理事長様のお話を拝聴する数々の機会をいただき、ご著書を拝読することでも理事長様に対する尊敬の思いは大きくなるばかりでした。現在委員を拝命いたしております教育基金の運営委員会が開催された昨年9月にお会いした時、理事長様は基金に対する思いを静かにしかし強い信念に満ちた口調でお話しされました。その時はそれがお別れとなってしまうとは思ってもよらないことでした。

昨年12月突然の悲報に接し、本年2月に追悼ミサ並びにお別れ会で最後のお別れをさせていただきましたが、素晴らしい教えと思い出を授けていただき有難うございました。どうぞ神様のもとでお父上の錠太郎様、ご家族の皆様とともに安らかにお過ごしください。



渡辺先生にいただいたもの

4期生 田淵（松原）利江

創立50周年を心よりお喜び申し上げます。

私は5年生の時、公立小学校から転校するご縁があり、卒業までの短い2年間でしたが濃厚な学びを受けさせていただきました。生徒達、先生方も人生で大きく影響を受けた第一は、渡辺和子先生ではないでしょうか。私が転校した時は、附属小学校の校長先生としての兼務を退かれ大学の学長に専念されておられたと、子どもながら記憶しています。それでも時々お目にかかる、クラスメートたちは皆「校長先生ー」と走りより、スキンシップを受けていました。私は、輪の外からシスター渡辺を見つめていました。何の宗教的知識も持たない小学5年生の私でもシスター渡辺は子供の頃の私にとって、他の場所では出会う事の出来ない存在であることを感じるオーラをもっておられたのです。

卒業後も何かの折に触れてお名前を聞くたびやマスコミに取り上げられるたび、また機会があり講演を聴かせて頂いたりした時、そしてお亡くなりになった今でも、これからずっと人々に影響を与え続けておられますね。

実はおこがましい話なのですが、もう随分前に、職場の同僚がシスター渡辺の講演を聴いた後で「やっぱり、利江ちゃんの仕事っぷりを見てるとノートルダム清心の教育を受けたからだと思った」と言ってくれたのです。本当に驚きました。私はとてもそんな立派な人間ではなく、我儘で自由奔放な人間だからです。自覚していることは、クラスメートの輪の外からじっとシスター渡辺を見つめていた幼い私は、大人になって先生のベストセラー「置かれた場所で咲きなさい」に何度も何度も助けられたということ

です。

また、思い出すのが、お御堂の空気感が大好きでいつも先生方やクラスメートと歌っていた「マリヤさまのこころ」という聖歌です。

マリヤさまの	こころ	それは	あおぞら
わたしたちを	つつむ	ひろい	あおぞら
マリヤさまの	こころ	それは	かしのき
わたしたちを	まもる	つよい	かしのき
マリヤさまの	こころ	それは	うぐいす
わたしたちと	うたう	もりの	うぐいす

清心高校在学中に、作業療法士という職業を知り大学に進学し、今もクリニックで働いています。お年寄りのリハビリテーションを指導させて頂いていますが、この年になっても失敗したり、難しいこともたくさんあります。そんな時、私はいつも無意識にお年寄りその方の中でのマリヤさま、そしてシスター渡辺を探しているのだと思います。それにより癒され、力を頂き、また働く事が続けられているのです。

今こうして思い起こせば、熱心に教育してくださった先生方、クラスメート、ノートルダム清心という小学校を選んでくれた両親に感謝の気持ちでいっぱいです。感謝の気持ちはいっぱいなのですがつたない文章で申し訳ありません。

ノートルダム清心附属小学校のますますのご発展をお祈りしています。



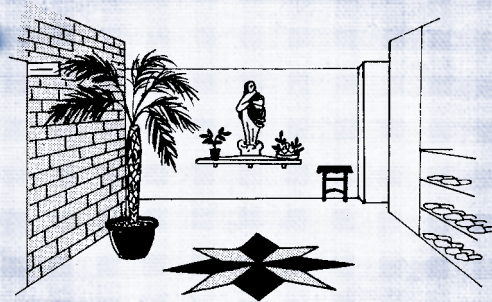
シスター渡辺和子先生の思い出

5期生 福 田 浩 子

「尊敬する人…マリア様、シスターセントジョン」。清心小学校の卒業記念の交換ノートに私はそう書きました。あれから長い年月が経ちましたが、私にとって清心幼稚園、小学校で過ごした8年間は天国の原風景だったと思います。どんな時でも、私の全てを受け入れ愛してくれる場所、清心のことをずっとそう思っていました。それはまさに神の国のことであり、イエス様、マリア様と、私にとって清心のシンボルであったシスター渡辺先生は子供心に1つに繋がる存在でした。時折校庭を歩いていらしゃったシスターの姿を見かけると、と

ても嬉しくて駆け寄って行きました。生徒全員の名前を憶えて下さっていました。大人になってイタリアに留学していた時に、どうしても清心で感じたあの温かさに触れたいと思い、カトリック教会に通い始め、洗礼を受けました。今信者として奉仕やチャリティ活動をさせて頂けることに感謝でいっぱいです。渡辺先生の著作を読み、その度に知恵と勇気を頂きました。それは私の宝物です。でもシスターが遺して下さった一番の宝物は、私の心に神様の愛と天国の清らかな温もりを、身を以て伝えて下さったことだと感じています。

50周年を迎えて



清心小のバトンを受け継いで

現校長 服部 和也

同窓会組織をより活性化していくために、家光前校長先生の提案で始めた同窓会報が今回第9号を迎えたところで、50周年になりました。当初は教職員が中心となって編集していましたが、年に数回同窓生たちが集まって編集会議が行われるように発展してきました。創刊から時間が経過するにつれて、発行を支援するための協力金は縮小していく傾向にあるのが普通だと思いますが、清心小の場合は、発行を続けていくだけの資金を9年間確保できたことになり、同窓生の皆様のご支援に改めて感謝しています。

学校では、50周年事業として記念誌の作成にも取り組んできました。今回は、思い出を集めるという内容を超えて、50年間変わらず学校が伝えてきたことは何か、清心で学んだことがその後の生活にどう影響してきたか、というようなことを様々な立場の人たちからお話を聞くことによって、「清心小の不易を探る」というものを目指しています。そのために、同窓生の何人かにインタビューの協力をお願いしました。久しぶりに小学校を訪ねてくれた卒業生たちは、時間の経過の中で、それぞれ自分たちなりに努力を重ね、自己実現していて、とてもまぶしく感じられました。忘れかけていたなつかしい担任時代のことがよみがえってきたり、自分は何が伝えられたのだろうかかと振り返ったり、よい機会をいただいたと思いました。

先輩達から受け継いだ清心小のバトンを持ってまだ走り続けています。次の人たちに渡す準備をしながら…



お祈り、シスターの姿、制服、弁当 黒いランドセル、そして「校歌」

第9代校長 松浦 孝之

附属小学校の卒業生で既に大学生や一般成人となっている方に出会ったとき、「附属小で思い出すことは」と尋ねることが多い。

多くの方が「お祈り、シスターの姿、制服、弁当持参、黒いランドセル…」などと次々と答えてくれる。これらはすべて目に見える形あるものであるが、その時の卒業生のキラキラした表情からは、これらを通して育まれたに違いない、目に見えない何かが伝わってくる。

なかでも「まこと求める窓辺には 青い小鳥も呼んでいる。…白くそびえるおみ堂に 聖母マリアはほほえみまもる。…」と歌われる「校歌」への愛着は強い。

この歌詞には学園の創立者マザー・ジュリーの教育理念「心を清くし 愛の人であれ」の意向のもと、附属小の「そう明な子ども 思いやりのある子ども 心身ともにたくましい子ども」の三つのモットーが見事に織り込まれている。

社会には変えてはいけないうこと、変えなければならないことがあるが、附属小開校以来50年、一貫して変わらない生涯の心の糧に出会えた卒業生は幸せである。

世代が違っていても、卒業生誰でもが歌詞を覚えていて一緒に歌える校歌。

どうか、どこかで、何人かでもが出会ったときには、いつでも「校歌」を共に声高く歌ってほしい。そして、母校に思いを馳せ、改めて附属小卒業生としての誇りと自覚を持ち続けてくれることを祈っている。



優しい子どもたちに囲まれて

第8代校長 方川 淳

私は、教員生活の最後を、清心小学校で過ごさせて頂いたことをこの上ない幸せに思っています。

清らかで、優しい心を持つ子どもたちに囲まれた日々は、とても楽しく、貴重なものでした。

当時、清心小学校では、いじめなどの理由で、地元の小学校に通えなくなった子どもを、毎年一〜二名受け入れていました。

この子たちは、清心小学校に転入してからは、決まって元気になり、友達と楽しく学校生活を送っていました。

カトリックの学校の温かい雰囲気と子どもたちの優しさのせいでしょうか。

五年間の勤務の中で、今も忘れられない出来事が二つあります。

一つは、私の新任式の日のこと。式が終わり、記念館から校舎に向かって私のところへ、小さな二年生の女の子がやって来て、「校長先生のお部屋は、こっちだよ」と手を引いて案内をしてくれたことです。これには本当にびっくり。

二つめは、退任のとき。最後の終業式を終えて校長室にいた私のところに、帰り仕度をした子どもたちが続々とやって来たのです。手には小さな手紙を持っていました。

「校長先生やめないで!」「優しくしてくれて有り難う」など、子どもたちの優しい思いが書かれていました。

四十年を超える私の教員生活で、こんなに感動したことはありませんでした。春休み中も手紙は毎日のように届きました。

このときの子どもたちからの手紙は、今も、私の大切な宝物です。



飛躍の年に

第10代校長 家光 大蔵

2005年4月から2011年3月まで6年間附属小学校をさせて頂きました。2006年新校舎建築、2007年40周年を迎えたこと、休憩時間運動場で子どもたちと一緒に遊ぶことなど、今も鮮明に覚えています。

50周年を迎えることができたのは、渡辺和子理事長様、高木孝子学長様のお力添えと、服部和也先生はじめ教職員の皆様のご尽力と、保護者の皆様のご支援があったからこそと感謝いたしております。

高木孝子学長様には公務が多忙にもかかわらず、小学校や子どもたちの様子について数えきれないほどお聞きくださいました。いつも温かいご助言をいただき、そのたびに元気をいただいたものです。

渡辺和子理事長様にもよくお会いしました。理事長室からの帰り際にはいつもエレベーターの所までお見送りくださいました。エレベーターで一緒した時、「みんなはね、エレベーターが着くとすぐボタンを押すでしょ。わたしはね、エレベーターを降りるまで、『主の祈り』を祈って待つようにしているのよ。」とお話くださったことがいまでも心に残っています。

渡辺理事長様は天に召され、高木学長様は学長職を退かれましたが、新たな体制で、50周年の節目にさらなる飛躍をと願ってやみません。



渡辺和子先生との思い出

元教頭 鳥 越 修

ノートルダム清心女子大学附属小学校が創立されて本年度で50周年を迎えますが、先ずもってお目出度いことであります。

さて、創立の頃を思い出そうにも往時茫々、記憶が薄れてしまっていて、はっきりとした具体例はどこへやら、感想としましては30周年記念誌に書いておいた通り、とにかく毎日を全力を出し切って駆けて来た感じです。

校長様を中心に県下で初めての私立の小学校、何としても立派に学校を創り上げなければならないと、児童は勿論のこと、教師、保護者一丸となって取り組みました。

校長様のお仕事の本務は大学でありますので、小学校へは曜日と時間を決めてお出になりました。学校に来られました折には学

校創りへのお話は勿論のこと、いろいろとお話を伺いました。それらのお話の片鱗はご著書の中のあちこちから散見することが出来ます。

当時出来ることは何でも自分達の手でということでありました。体育に必要な砂場を教職員の手で作ることになりました。運動場の北側、指定された場所へ、確か3m×7m×0.9mの大きさだったと思います。大学から借りた用具はツルハシ1丁、スコップ2丁、平鍬2丁程度で、放課後硬い運動場を一掘り一掘り何日も掛かって掘り上げ、大学より廃材をもらって枠組みをし、土の撤去と砂の運び込みだけは業者に依頼しました。毎日の様に日没まで作業をしましたので、校長様が折を見てご自分で皆にお茶を運んで来て下さいました。



お元気ですか

元教頭 嶽 惣 爾

同窓会誌50周年記念誌の発行お目出度うございます。

同窓会誌を拝読するにつけ、関係する記事のことが、昨日のことのように思い出されます。そして、新しい情報（発展など）には感動と驚きです。

学校教育目標「心を清くし、愛の人であれ」と3つのモットーをどう育成するか、基礎学力の充実に、必死でした。私の指導力や力不足のため、児童のみなさんには、大変な苦勞と迷惑をかけたことを今も反省しています。最近9期生の同窓会があり、あつかましくも、なつかしく参加しました。

附小での思い出は、苦もあり楽しくもありますが、同窓会誌の創刊号に一部投稿していますので省略します。

現在の生活は、畑を借りて家庭菜園を楽しんでいます、草の勢いには負けます。また、町内や他団体から要望されると「私に出来ることなら」とまわりの人や業にも助けられ、安請け合いをしています。最近、頭と体がついていけないことを痛感しています。

最後になりましたが、同窓生みなさんのご健康と、同窓会の益々のご発展をお祈りいたします。



清心小学校 五十周年 おめでとうございます

旧職員 坂 田 照 子

昭和の頃十一年間勤めさせてもらいました。現在九十四才になりましたが、お蔭様で無事送日しております。私の人生に取りまして清心小学校は、とても楽しくなつかしく思っています。

宿泊学習で少年自然の家へ、一年生と何度か行きました。初めての外泊で仲々眠れず泣いていた子も今はおばあちゃんになって孫をあやしているのだらうと、なつかしく思ったりします。

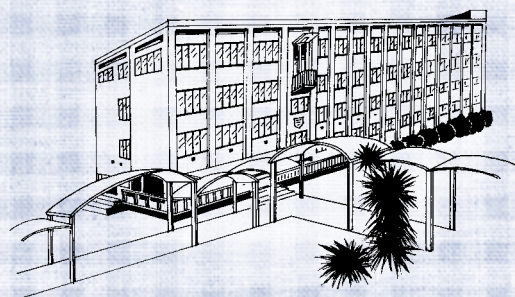
ある日六年生がタイムカプセルだと言って自分達の色々な思い出となる品をビニールの大きなケースに入れ校舎の北側の木の根近くに一緒に穴を掘りうめました。

その後校舎の改築でどんなになったか知りませんが、ケースに入れた記念の品々そして入れた皆さんの事を思い出します。

運動公園の近くを通る度、マラソン大会をしたり、写生会に来たりしたとなつかしく思います。

今までの人生で一番楽しい日々であった事、とてもなつかしく思っています。

清心小学校の益々の発展をお祈りします。



20周年当時の思い出

旧職員 船 田 耕 三

50周年、誠におめでとうございます。私がお世話になったのは、ちょうど30年前、創立20周年を迎えた頃の3年間でした。

20周年記念誌の編集に携わらせていただいたり、記念運動会として「20周年記念ブロードナード」という新しい種目を考え、児童と一緒に練習したり、多くの思い出があります。中でも、新しい総合遊具が完成し、みんなで手紙つきの風船を飛ばしたことが、遠くから返事が来て感激したことは、強く印象に残っています。

3年間での一番の思い出は、やはり子ども達です。担任の経験がなく、迷うことの多かった私にとって、救いは子ども達でし

た。子ども達の笑顔や言葉に元気をもらったり、いろいろ教えてもらったり、子ども達にはとても感謝しています。特に3年目は、人数が少なかったこともあり、1クラスとなった学年を担当させてもらいました。担任する数が一気に倍となり、大変だった部分もありましたが、明るく元気な子ども達のおかげで、楽しく充実した毎日を過ごすことができました。

あれから30年、随分様変わりした部分もあると思いますが、昔も今も、子ども達が活躍し、子ども達の笑顔が溢れる小学校であり続けてくださることを心から願っています。



30周年当時の思い出

旧職員 松浦 真弓

創立五十周年を迎え、心よりお祝い申し上げます。卒業生の皆様、そして保護者の皆様、懐かしうご挨拶申し上げます。三十周年の人文字を運動会で描いた時、同僚の先生方と「次の五十周年はもう私たちはいないねえ。」と、少々寂しく感じながらお話したこと、もうその時を迎えたのだと改めて感慨深く思います。巣立っていったたくさん子どもたちを思い浮かべるたびに、本当に素敵なお子さんたちだったと思っています。子どもたちからたくさんの優しさと笑顔と元気をいただいたことばかり。感謝、感謝の気持ちで一杯です。「愛いっぱい」が学級目標でした。今、皆様はそれぞれで、頑張っておられるのでしょう。私は、連絡帳を見るのが楽しみでした。毎朝、一人ひとり子どもたちの文字を見ながら、今日の調子はどうかなと。中には私へのお手紙も。素敵なお絵入りのものや松ちゃん似顔絵も毎年誰かが作ってくれました。修学旅行やスキー教室、運動会などの特別な行事だけでなく、日々の授業もとても思い出となっています。卒業生の中には、訪ねてくると、私の授業の真似をして笑わせてくれます。「一人ひとりをご大切に」…昨年12月末にお亡くなりになったシスター渡邊和子前理事長様が教えてくださったお言葉です。現在、私は、玉野カトリック教会で教会学校を、そして広島教区(岡山鳥取地区・広島地区・山口島根地区)の小学校五年生から高校三年生までの子どもたちと予備神学校という名称で神様のお勉強をしています。神様の子どもたち、一人ひとりをご大切に、これからも頑張ります。清心小学校の益々のご発展と卒業生と保護者の皆様に神様の愛と慈しみが豊かに注がれますように、日々心よりお祈りしております。



「清心小学校 創立五十周年に寄せて ～清心っ子という アイデンティティー」

5期生 竹本(楨枝) 聡美

清心小学校創立五十周年を迎えられ、心からお慶び申し上げます。しみじみと年月の早さを感じると共に、清心小学校で学ばせていただいた感謝の気持ちを込めて、ペンを執りました。

私は弟の入学と同時に、四年生の時に転校して参りました。担任の熊代先生が、特別に、お御堂に案内して下さったことを今でも鮮明に憶えています。神聖かつ厳かで静寂に包まれた中、私たちは神様に守られているのだということをその時教わりました。私は在学中も、卒業後も、今もずっと、神様に守られている安堵感がベースにあります。困難な時も何とかなるのではないかなと思えることが、今になってありがたく思います。ストレス社会といわれる昨今、心の健康のキーワードは「レジリエンス(逆境力)」といわれています。偉大な大きな力に守られているという安心感も、これに影響するとのことでした。

また、他にレジリエンスに作用することとして「自尊心感情」が挙げられるそうです。先日惜しまれながら天国に召された渡辺前理事長様の「お大切に」というお言葉どおり、児童一人ひとりを大切に育て導いてくださる清心小学校の校風こそ、「自尊心感情」につながっていると信じてやみません。

私はこれから先の人生を、清心っ子というアイデンティティーを忘れず、意識しながら心豊かに歩んでいきたいと思っています。

最後に、清心小学校の更なるご発展と、皆様方の益々のご健勝、ご活躍を心よりお祈り致します。



英語教員として

旧職員 服部(玉谷) 美香

Happy Golden Jubilee Anniversary to Notre Dame Seishin Elementary School!!

I thank God for all His grace and that He has kept this school in His Hands all these years.

私は清心女子大学を卒業してすぐに、附属小学校の英語教員として5年間勤務しました。お世話になった諸先生方、当時の子ども達や保護者の皆様のお顔が本当に懐かしう思い出されます。授業も行事も楽しい思い出がいっぱいです。今立派なお父さんやお母さんになられて、今度はお子さん方を清心小に來させて下さっているとのこと。これほどの再会の喜びはありません。

今から10年前には久々に清心小学校に戻り、国際コースで5年間、非常勤で勤務するお恵みをいただきました。

私ごとで恐縮ですが、当時職員室で隣の席にいた服部と家庭を持ち、2人の子どもたちはおかげさまで早や成人しました。彼らが小さいとき、「父さんは家の電話番号のところに間違えて清心小のを書いてた」とよく話題にしておりました。

現在、岡山大学では17年目、放送大学では10年、2年前からはSkypeで国内外の日本人に個人レッスンをする仕事にも関わっています。英語の楽しさを子どもからお年寄りまで多くの方に伝えたいという夢がかない、たくさんの出会いに日々感謝しています。

大好きな清心小学校の益々のご発展と、今の小学校を支えておられる先生方、児童の皆さん、そして保護者の皆様のご健康とご多幸をいつもお祈りしております。



「小学校の思い出」

9期生 佐久間(藤井) 由紀枝

母が、美容院を営んでいる所から近いという事もあり、通学する事になりました。当時は当たり前のように思っていたが、卒業して大人になり、仕事をして結婚、出産、子育てと経験していく上で小学校では随分沢山の事を学ばせて頂いたのだと感じました。やはり印象深い事は、スキー教室、蒜山登山、大山登山、夏休みには大学から先生がいらっしゃる、プール教室がありました。又、テーブルマナー講座など記憶に残っています。以前の校舎の玄関には、マリア像が置いてありみんな御辞儀をしてから教室に入っていました。この頃から目上の方を尊敬するという事を学んだのではないかと思います。公立の小学校では学べない事が沢山あり、このような環境を提供して下さいました先生方には大変感謝しております。有難うございました。





聖歌の思い出

34期生 田中 景子

清心小学校創立50周年を心よりお祝い申し上げます。

僕達の力は弱いけど僕達の体は小さいけど
一人一人の心に橋をかければ～
みんなの力は強くなるみんなの力を合わせれば
何でもできる～

今でも時々口ずさむ、小学生のころから大好きな聖歌の一つです。

今年の春から私は公立小学校の教師となり、2年生の担任をしています。一昨年の秋には清心小学校で教育実習をさせていただきました。他大学に進学したにもかかわらず、母校での実習を快く引き受けて下さり、真摯にご指導いただきました。私を育てて下さった先生方がいる安心感とあたたかさに包まれながら充実した実習を送ることができました。忙しい一カ月の実習中、毎朝聖歌を歌う時間は心が落ち着き、今日も頑張ろうと力が湧きました。それとともに、自分が小学生のころ歌っていた聖歌が10年以上たった今でも変わらず歌い続けられていることに喜びを感じ



たものでした。

協力、感謝、友愛、自立、努力、平等、親切…。教師として子どもたちに伝えたいことは山ほどあるけれど、まだまだ私は未熟者で、子どもたちにとって分かりやすい言葉で記憶に残るような表現で説明することが難しく思うときがあります。そんなとき私は小学生のころからずっと大切にしている聖歌集「心をつないで」を開きます。清心小学校で教わった聖歌の歌詞の中には、私が子どもたちに伝えたいことを分かりやすく言い換えるヒントが隠れているような気がするのです。今受け持っている子どもたちが算数や国語などの勉強ができるようになったり、体が大きくなったり、そんな成長ももちろん嬉しいけれど、我慢強くなれたり、素直になれたり、友達に優しくできたり、心の成長が何よりも嬉しいです。今自分がそう思えるのは清心小学校で過ごした6年間で根底にあるからだと思います。

清心小学校の校訓である「心を清くし愛の人であれ」この言葉を今一度しっかり心に留め、子どもと一緒に成長できる教師でありたいです。

最後になりましたが、清心小学校と卒業生の皆様のご活躍を祈念いたします。

同窓会総会のご案内

会則に従い、本年12月9日土曜日に大学のヨゼフホールをお借りして同窓会の総会を開催いたします。当日は、大学の前学長高木孝子様の記念講演会と総会後には簡単な懇親会も準備しております。(スケジュールなど詳細は同封の別紙をご覧ください。)お誘いあわせの上、ひとりでも多くの同窓生の皆様のご参加をお願いいたします。

寄附のご報告

創立50周年おめでとうございます。

私は卒業して41年経ちますが、改めて感慨深い思いでございます。そして、人間形成に大切な時期を清心小学校で学べましたこと大変感謝しております。

さて、この度、お祝いとして同窓会から記念品の演台をお贈り致しました。小学校ですでに朝礼等で使用していただいているとのことで、早速母校のお役に立っておりますことをうれしく思っております。

これも同窓会の皆さまのご協力のおかげでございます。ここに、ご報告かたがた今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

清心小学校同窓会副会長
藤田 淑子



各期の同窓会で ご利用下さい！

各期同窓会を企画するにあたって

株式会社サルトさんを通して、現在登録されている住所録を提供(有料)していただけます。案内状の作成送付(有料)も代行していただけますので、ご希望の場合は小学校までご連絡下さい。

又、これまで同窓会をされた方、これから開催される方は、是非その様子の写真を送って下さい。会報で紹介したいと思っております。メール(tr-3@nds-u.ed.jp) 郵送共に受付けています。

12期生 真田恭子



これは1期生の会の様子です。

お知らせ



今年の保護者会バザーは2017年10月22日(日)です。

今年は、次の日程で、保護者会主催のバザーを開催いたします。 **日時：10月22日(日) 9:30～13:00**

毎年、同窓会コーナーとして、卒業生のお部屋を用意していただいています。そちらでは、恩師の方々や同窓生の皆さんと楽しく歓談することができます。

また、同窓生の皆様からご提供いただいた物品の販売もしております。ご家庭のご不用品がございましたら、小学校にお持ちいただければありがたいです。ご一報いただければ、取りにうかがうこともできますので、どうぞよろしくお願いいたします。

清心小学校 平成30年度児童募集

願書配布	平成29年9月1日(金)から	4月から1年生になる予定の方がいらっしゃったら、是非ご紹介ください。 10月22日のバザーの時にも、入学相談コーナーを開設しています。
願書受付	平成29年10月31日(火)・11月1日(水)・2日(木)	
面接期日	平成29年11月18日(土)	

清心小学校 同窓会メーリングリストのご案内

同窓会事務局から、バザーのお知らせ、同窓会報の発行情報、評議員会など集会の案内をお送りします。以前登録された方も、携帯電話を買い替えたり、アドレスを変更されていたりしていないか、確認していただけるとありがたいです。

登録方法

① メールアドレスを登録される携帯電話等から次のメールを送信して下さい。

To 宛先:tr-3@nds-u.ed.jp

Su 件名:アドレスの登録

内容:清心小同窓会のメーリングリストに登録します。○期生氏名○○○

② 送信された方のアドレスがこちらに表示されますので、それをコピーして登録します。

③ 登録が完了したことを返信メールでお知らせします。

④ ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお尋ね下さい。

⑤ パソコンからのメールを拒否する設定など迷惑メール対策で、やり取りが出来ない状態になっていないかご確認下さい。

⑥ アドレスの変更があった場合は、ご面倒でもご連絡をいただくと幸いです。



編集後記

この度第9号同窓会会報を発行することが出来ました。この数年、編集会議でも同窓会会報を通じて創立50周年をどのように盛り上げようと、スタッフ一同色々と企画を考えて参りました。いよいよ今年その年を迎えるに当たり、懐かしい先生や同窓生の方々から暖かいお言葉、エピソード、思い出の話などを頂くことが出来ました。お忙しい中、携わって下さった皆様方に深く感謝いたします。残念ながら、昨年末に亡くなられま

した渡辺和子前学園理事長様とご一緒にお祝いすることは叶わなくなりましたが、私たちの思いはきっと伝わり繋がっていくことと思います。

12月の創立記念日までにはあともう少し時間もあります。一人でも多くの同窓生の皆様とお祝いできますことを期待しております。どうぞ皆様ご参加ください。

1期生 石井尚子